

# 災害時の口腔ケアが命を守る

阪神淡路大震災から能登地震の29年を振り返る

日時 7月7日(日) 14:00~16:00 (開場 13:30)

会場 兵庫県保険医協会 5F 会議室

講師 ときわ病院歯科口腔外科部長  
兵庫県保険医協会副理事長

足立 了平 先生

参加費 無料 (どなたでもご参加いただけます)

定員 80人 (先着順・事前申込制)



能登半島地震の発生から4カ月あまり。長きにわたる避難所生活は、被災者の健康への影響が心配されます。

過去の災害で関連死の死因上位に挙がる肺炎は、口の中の不衛生が一因で起こっています。被災者は貴重な水を節約しようと歯の手入れを後回しにしがちです。共同の手洗い場を使うことへの遠慮と不便さもその背景にあります。しかし災害時こそ、口腔ケアが必要なのです。

私は29年前の阪神淡路大震災で効果的な口腔ケアが提供できなかった反省を元に、以来、新潟県中越地震や東日本大震災、熊本地震などの被災地で、肺炎を防ぐ口腔ケアの重要性を伝えてきました。今回の能登の被災地への訪問の経験も踏まえ、みなさんとともに考えるひとときになれば…と思います。(足立 記)

→終了後、歯の健康相談会あり(無料)

主催 「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会

共催 兵庫県保険医協会、兵庫県民主医療機関連合会

協賛 (申請中) 兵庫県歯科医師会/兵庫県歯科技工士会/  
兵庫県歯科衛生士会

後援 (申請中) 兵庫県/神戸市/神戸新聞社/朝日新聞神戸総局/読売新聞神戸総局/毎日新聞神戸支局/産経新聞社/サンテレビジョン/ラジオ関西

足立 了平(あだち・りょうへい)先生 ご略歴

1978年大阪歯科大卒業後、同大学歯科麻酔学講座に入局/1981年神戸市に入職、神戸市立中央市民病院歯科口腔外科/1989年神戸市立西市民病院歯科口腔外科/2002年同病院歯科口腔外科部長/2008年神戸常盤大学短期大学部特命教授/2010年ときわ病院歯科口腔外科部長/2019年同大学定年退職/2017年兵庫県保険医協会副理事長

【問い合わせ先】 兵庫県保険医協会事務局 吉永

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31  
神戸フコク生命海岸通ビル5階

TEL. 078-393-1809 FAX. 078-393-1820

[ysng@doc-net.or.jp](mailto:ysng@doc-net.or.jp) ⇒会場地図は裏面参照

★事前にお申込み下さい。会場に手指消毒液をご用意、会場換気を致します。

## 【Zoomによる参加の申し込み】

URL または QR コードから前日までにご登録ください <https://x.gd/I3NtB>

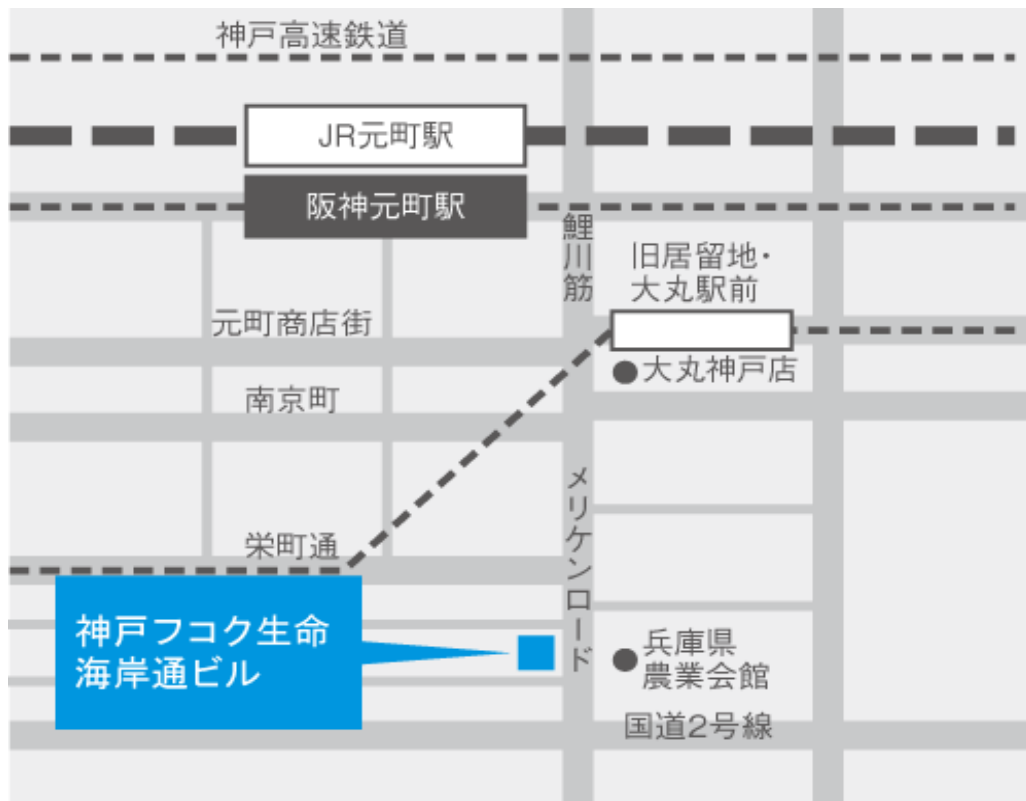
【来場による参加の申し込み】 FAX078-393-1820 または [ysng@doc-net.or.jp](mailto:ysng@doc-net.or.jp) まで



「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会 市民学習会 (7/7) に参加します

( ) 人 所属など \_\_\_\_\_ お名前 \_\_\_\_\_

## 【会場地図】



### 「保険でより良い歯科医療」兵庫県連絡会のご紹介（設立趣旨より）

おいしく、楽しく食べることは人生を豊かにするとともに健康の基本です。しっかりと噛むことで全身の健康状態を高めます。とくに今日の歯科医療は、糖尿病の管理をはじめ、致命的な疾患にいたる高血圧症や動脈硬化、歯性感染症、誤嚥性肺炎、認知症の予防など、全身の健康にとって不可欠な口腔機能を維持させる上で、ますます重要となっています。お口の健康を保障するためには保険で安心して歯科医療を受けられることが望まれます。

また、成人の8割は歯周病といわれ、通院困難な高齢者・障害者への歯科訪問診療など、国民の歯科医療のニーズも高まってきています。

こうしたニーズに応えるよう歯科医療従事者は、「いつでも、どこでも、お金の心配なしに安心して医療を受けられる」ことを理念とした「国民皆保険制度」のもとで、憲法 25 条に基づく社会保障としての歯科医療に携わっています。

しかしながら、患者さんにとって必要な技術が保険で扱えない、従事者の労働力に見合うように保険点数が引きあがらない、患者さんも窓口負担が高くて受診を躊躇するなど、長く続く政府の「低医療費政策」により歯科医療は疲弊しています。高齢化が急速に進み、医療技の進歩も著しいのにもかかわらず、この数十年間、保険点数は据え置かれ、新しい技術が保険で認められていないのです。

政府が歯科医療費を増やさないため、歯科医療は危機に瀕しています。歯科技工士、歯科衛生士を養成する学校は定員割れ・廃校が続いています。歯科大学・歯学部も近年は志願者減・定員割れになるなど、お口の健康を守る歯科従事者の担い手がなくなるという深刻な事態になりかねません。

わたしたちは歯科医療の危機を乗り越え、国民の口腔の健康を守るために、歯科医療関係者と患者・住民との協同のネットワークとして、「保険でより良い歯科医療を求める兵庫県連絡会」を立ち上げ、歯科医療の充実とその大切さを国民各層に呼びかけていきます。